

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価について

各事業の評価方法について

(1) 指標の設定がある事業

指標の設定がある事業の評価は、事務事業評価（業務棚卸評価）と同様の評価指標を基に行います。評点は、評価の指標の達成状況や成果等を踏まえ、S、A、B、C、D、Eの6段階で評価し、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進に向け具体的に取組んだことや、そのことによる効果及び今後の取組について具体的に記載します。

【評価の基準】

評点	取組に対する分析	事業の指標の達成状況	当該事務事業の実施状況
S	事業の指標を概ね達成し、成果があがった。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、すでに成果が出ている。
A	事業の指標は達成できなかったが、成果があがった。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、すでに成果が出ている。
B	事業の指標は概ね達成し、成果は今後見込める。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでていないが、活動内容や方法の改善等により、今後成果が見込める。
C	事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでていないが、活動内容や方法の改善等により、今後成果が見込める。
D	事業の指標は概ね達成したが、成果は見込めない。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでておらず、今後も成果が見込めない。
E	事業の指標は達成できず、成果も見込めない。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでておらず、今後も成果が見込めない。
Z	未着手事業		
X	事業終了		

(2) 指標の設定がない事業

指標の設定がない事業の評価は、第6期計画の評価指標の取組に対する分析欄の評点は記載せず、評価及び今後の取組み、事業の進捗状況について記載します。高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進に向け具体的に取組んだことや、そのことによる効果及び今後の取組について具体的に記載します。

【事業の進捗状況】

- | |
|--|
| ① 予定より早まっている
② 予定どおり進んでいる
③ 予定より遅れている
④ 予定より大幅に遅れている
⑤ 未実施
⑥ 事業終了 |
|--|